

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流しているに対して、日常的に交流が図れずまだ、地域密着には至らない。	地域交流、連携を図るためにGHでの行事等に、地域の方にも参加して頂けるよう、地域に根付いた関わり合いを持てるよう工夫する。	GHの行事等に地域の方も参加して頂けるよう、GH行事の事前案内を回覧させていただき、地域との密着が図れるよう取り組む。また、毎月広報誌を自治会を通して情報を発信しているが継続に行く。地域風習の子供会による「ぼうじぼ」を毎年来ていただくようお願いする。	12ヶ月
2		運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしていくと言うことが、なかなかできていない。	運営推進会議を通して参加された方からのご意見、指摘等をユニットに伝達して今後のご利用者様のサービスの質の向上につなげる。	民生委員や自治センター、地域包括支援センター、地域住民の方合わせて5.6名の参加でしたが、自治会長やご利用者ご家族様にも積極的に運営推進会議に参加して頂けるよう声掛けをして行き助言をして頂きサービスの質の向上を図る	12ヶ月
3		身体拘束をしないケアの実践 知識の向上に乏しい	各職員が身体拘束をととはを、熟知した行政レベルで理解する。	年2回(6月、11月)事業所内で学習を行う。	12ヶ月
4		ユニット会議カンファレンス等が不十分である	ユニット会議カンファレンス等を毎月行う	毎月ユニット会議を行い、また必要時にも臨機応変に対応、会議カンファレンス等を行う	8ヶ月
5		重度化した終末期に向けた方針と共有と支援	新規事業所により、終末期また重度化したご利用者さまの、対応に各職員が不安の無いよう又、ご利用者様に負担の無いよう対応できるよう上級職員が各職員新人職員等の指導に当たる	年2回(6月、11月)事業所内で学習を行う。	12ヶ月
6		個人のプライバシー、個人ファイルの管理の在り方	個人ファイル・その他の記録簿は、ご利用者様のプライバシーに配慮し、保護の観点から見えないように工夫する	管理する場所の配慮をし置き場所の工夫をする	1ヶ月